

佐々川流域の石橋群フォト・絵画コンテスト

「石橋案内会」に15名の参加

吉井エコツーリズムふるさとの会では、この1年、吉井地区の貴重な歴史、自然、文化遺産を元にツーリズムイベントを企画しています。

佐々川を親子で楽しんだ「ふるさとの川の集い」(4月)、福井洞窟、岩陰遺跡をもとに原始社会を体験した「来てみんな やってみんな原始の谷」(8月)などでした。

吉井地区のまた一つの文化は、佐々川流域に架かる9基の石造りアーチ橋やコンクリートアーチ橋梁(4連3基)です。この文化遺産を元に企画したのが「菜の花と石の橋と」フォト・絵画コンテスト」(3月)でした。

「四季折々の自然環境をとらえた作品を募集することで、より橋のすばらしさを感じと

ってもらえるのでは」、また「曲川橋だけに限定したのでは地域の持つ特徴が理解していただけない」などの反省から、範囲を佐々川流域の石橋群とし、年間を通した写真や絵画の作品を募集するイベントにしたものです。その一環として、石橋の場所などを案内する「石橋案内会」が実施しました。



樋口橋のアンブルを求める参加者

県立少年自然の家の協力を得て、11の石橋を巡る

「石橋案内会」は世知原の物産館「国見の郷」を10時前に出発。当日は、協賛を頂いている県立世知原少年自然の家からマイクロバスを出していただきました。

参加されたのは、旧佐世保市内から12名、吉井、世知原、小佐々から3名の15名。これに主催関係者5名(他子ども3人)の合わせて23名が昼食の時間も惜しみながら、佐々川を石橋を巡りながら下っていきました。

まわった石橋は、小岩橋、竜之氏橋、尾崎橋、古山橋、きりのき橋、奥の口橋、いし橋、祝橋、岩下橋、曲川橋(吉井)、樋口橋の11橋にも及びました。写真撮影を意図した方も参加しておられるので、ロープを使って川原に下りるなど、

かなりハードなご案内をいたしました。結果的に、大変感動して石橋を見上げていただき、カメラを持つ手にも力が入っていられたようでした。コンテストへのご応募が楽しみです。



コスモスの咲き乱れる曲川橋で

報道の影響

今回の石橋案内会については、ライフ佐世保(10/26)、NHK(11/6 週末情報)、長崎新聞(11/6)、朝日新聞

(11/8)で報道がなされました。その後問い合わせが10件ほどありました。そのほとんどが、「ライフ佐世保」を見たという方でした。幸か不幸か、集合場所や応募企画が不明だったため、応募希望者との電話会話が出来ました。また、石橋案内会への参加者が、15名という数も、15名中13名が、報道による参加でした。今後の貴重な参考になりました。